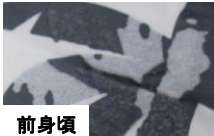


TES会中部支部 第130回クレーム事例勉強会

検討年月日	2018/10/19		Aグループ							
品名(拡大写真)	プリント付 白Tシャツ									
 袖  前身頃	組成	取 扱 い 絵 表 示	140	220	320	440	530	620	710	
	綿 95% ポリウレタン 5%		141	210	310	430	520	621	711	
			142	200	300	445	510	610	712	
			130			435	500	611	700	
			131			420		600		
			132			410				
			110			425				
			100			415				
			ネット 無蛍光 中性					あて布 使用		
				国内用取扱い %表示なし						
申し出クレーム内容	海で着用後、濡れたままビニール袋へ入れて持ち帰り、夜に洗濯したらプリントが剥がれてしまった。									
クリーニング処理法	家庭用洗濯機にて水洗い処理後、吊干し乾燥									
グループ検討内容	・プリントのグレー部分は、今の状態でも押し合わせるとプリント同士が接着する ・全てのプリントが剥がれているわけではない(部分的に離れている) ・身生地部分にプリントはくっついていない ・グレー及び赤のプリントは白色プリントの上に重ねてプリントされている ・原材料や加工工程に問題があった可能性もあるが、断定はできない [推察] 海水でぬれた状態のまま、クシャクシャにして袋に入れ、夏場の車のトランク内等の相当な高温になる場所に長時間置かれてラバープリントが劣化し、圧着されたプリント同士が融着した。その後家庭洗濯して干す時に融着したプリントを引っ張ったため剥がれた									
検査機関検討内容	観察: プリントはラバープリントである。剥がれたプリントと表面同士が貼り付き、強い粘着力を有している。剥離したプリントは前身頃部分では下地が残っており、袖部分は綺麗に剥離した状態である。乾燥状態の表面にはラバープリント特有の風合いが確認できるものの、プリント同士が重なっても貼り付く様子は見られない。 推測: ①申し出内容から製品は海水浴で使用され湿潤状態であり、ビニール袋に入っていたことから綺麗に畳まれていた状態では無く、無造作になっていた。更に、バスタオル等と一緒に詰め込まれ圧力が加わった。 ②海で着用していたことから季節は夏で温度が高い状態になりえる環境であった。以上のことから、プリントは湿潤状態でプリント同士が合わさり、更に圧力が加わった場合に貼り付きやすくなると推測される。加えて、夏場の高い温度に晒されたことで熱が加わり強い粘着力が発生したものと推測される。剥離については、貼り付いた状態で洗濯を行ったことで発生したものと推測される。 原因: 所有者着用後の保管状態。 再現試験: 実用洗濯(貼り付きや剥離が発生するのか)、L0846水試験(湿潤状態でプリント同士を合わせ圧力を加える。乾燥後、剥がした際に粘着や剥離が発生するのか)、L0854昇華試験(熱が加わることで粘着力が増すのか)									

